

だい かい しょうわみらい かいぎ 第10回「昭和未来会議」のまとめ

1. がいよう 概要

へいせい ねん がつ にち ちりゆうだんち しょうわろうじんいこい いえ だい かいしょうわみらい かいぎ かいさい
平成29年3月12日、知立団地「昭和老人憩の家」にて、第10回昭和未来会議を開催しました。
(参加者20名)

こんかい ないよう へいせい ねんど ほうこうせい かく グループのテーマに応じた話し合い
今回の内容：「平成29年度の方向性について」「各グループのテーマに応じた話し合い」

2. まとめ

(1) まず、ここ数回で恒例となった、これまでのおさらいを行いました！

～「これまでのおさらい」の概要～

まず第1回 昭和未来会議では、「昭和地区の理想の未来」をテーマに意見交換を行い、昭和地区の「課題」と「理想の未来」を共有しました。次に、第2回・3回昭和未来会議では、昭和地区をよりよくしていくために、「やってみたいこと」について意見を出し合いました。

これらの話し合いを通じて、「それぞれの生き方や経験をもとにした、様々な考え方や価値観があること」を知りました。一方で、「昭和地区の多くの皆さんが共通で考えている課題や理想の未来」も見えてきました。

▶ 昭和地区共通の理想の未来①：若者にとって魅力ある昭和に！

⇒若者の定住・移住が必要！ まず、在住の若者がいきいきと活躍、魅力を感じる昭和に！
若者の活躍を皆が歓迎・応援する気運も大事！

▶ 昭和地区共通の理想の未来②：みんなが安心して暮らす昭和に！

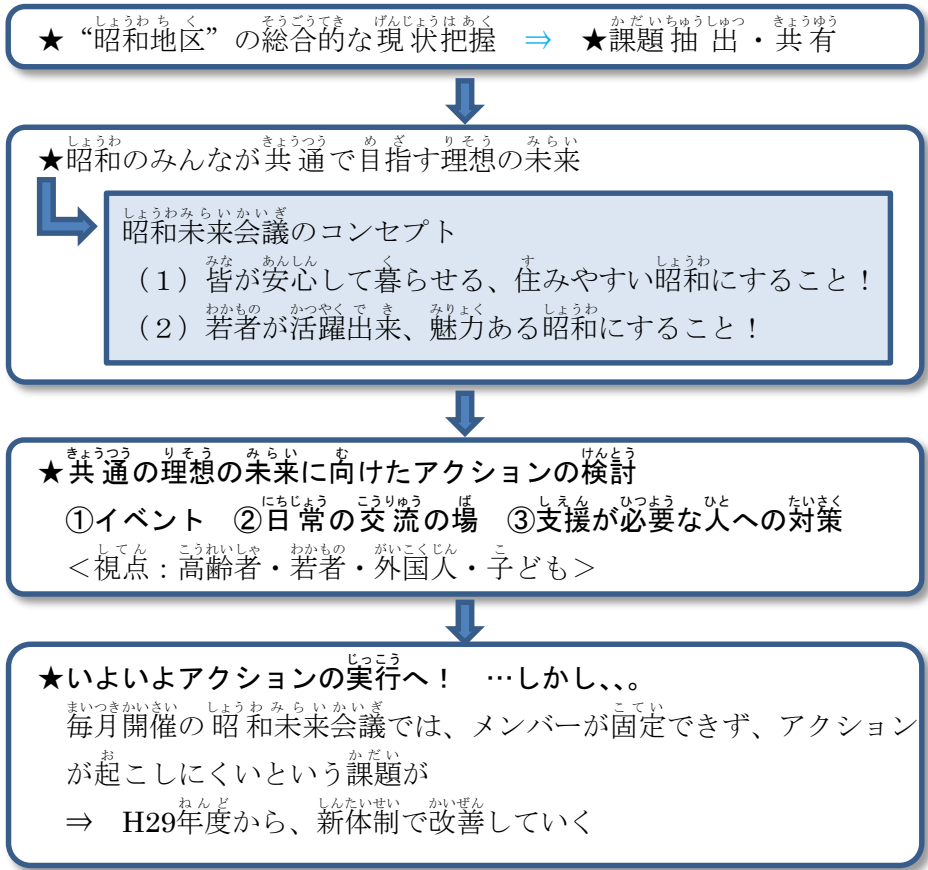
⇒高齢者も、外国籍住民も、子どもたちも！

今後は、共通の理想の未来のために「やってみたいこと」の話し合いを続けていくことになりました。また、「地域住民同士の情報共有」「行政や関係者との情報共有の場」とし、地域だけで解決できないことは、それぞれの立場から創意工夫をしていくということについても共有がなされました。

第4回会議からは、様々な立場や考え方の人達が合意形成していくことの難しさを実感しつつ、『やりたいこと』の実現に向けて話し合いが続けられています。その中で「毎回のメンバーが固定できないため、アイデアの実現に向けた話し合いがなかなか進まない」という意見や「今後の会議の進め方を検討する必要がある」という意見が上がりました。事務局もこの件については次の展開を検討中だったため、3月の昭和未来会議で、今後の進め方について皆さんへ報告するということになりました。

(3) そして…、**今後の方向性**についての報告が行われました！

《**第一段階**》平成28年6月より「**昭和未来会議**」開始！

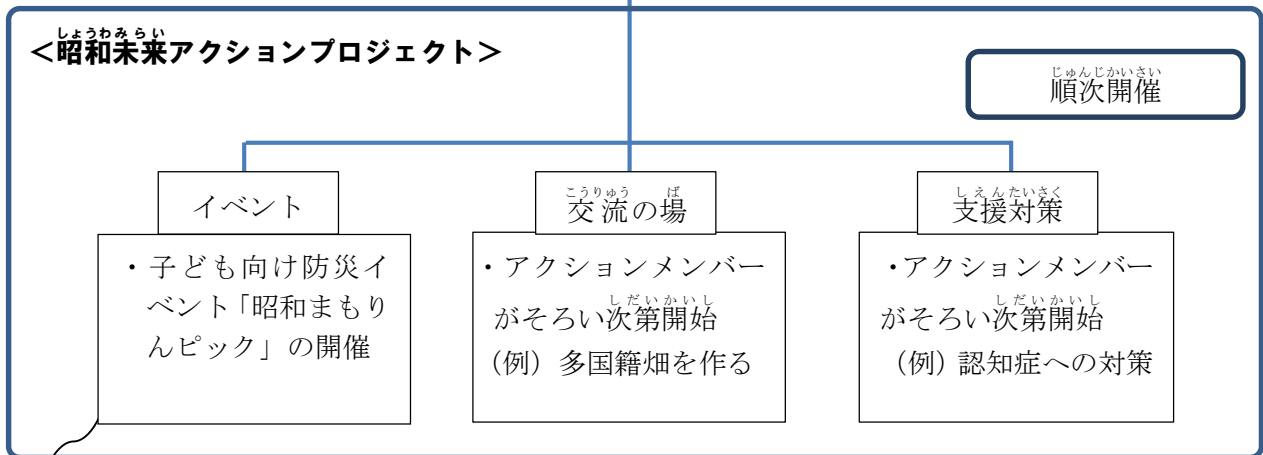
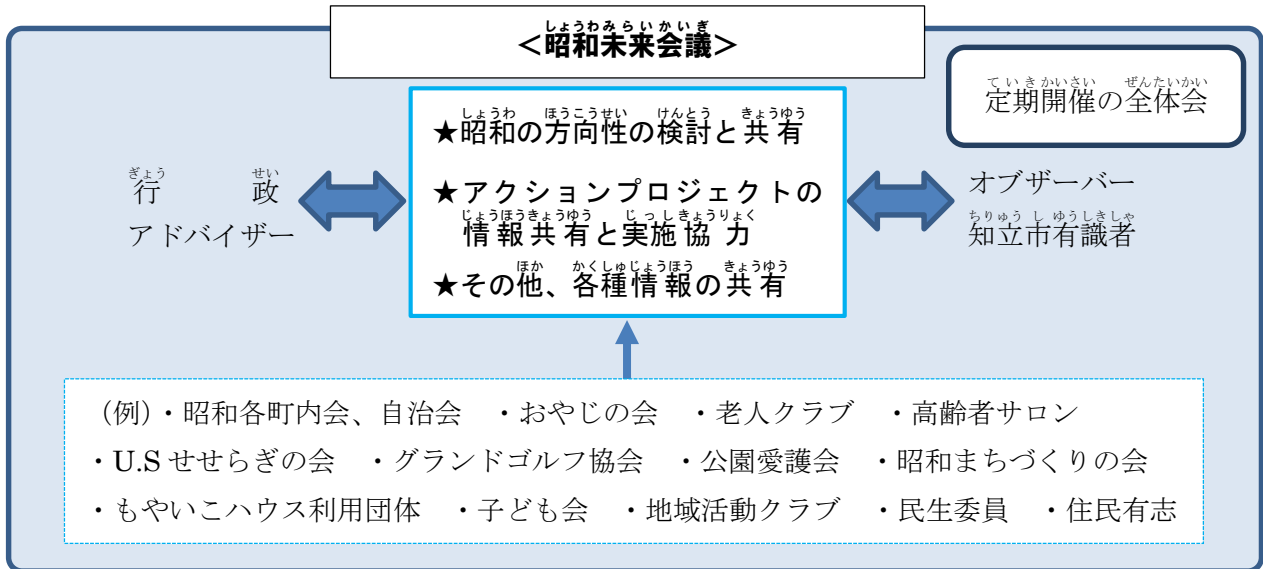


※現状や課題の共有を行った上で、それぞれの立場や多様な考え方があっても、「みんなが共通で考える理想の未来」が導き出されました。

※理想に向けたアクションについて様々なアイデアがあげられました。

だい だんかい へいせい ねん がつい こう
 《第2段階》平成29年4月以降スタート

★『昭和未来会議』の充実・拡大の為の「アクションプロジェクト」スタート！



・イベントグループの個別プロジェクト開始についても情報が提供されました！

(4)最後に、3つのグループ、「イベント」「支援が必要な方に対してできること」「交流の場」に分かれて話し合いが行われました。各グループの意見を集約すると、以下のようになりました。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

<これまでのストーリー>

◆イベントは、交流促進や地域に活気をもたらすきっかけとして効果的です。昭和未来会議でも、新しいイベントについての多くのアイデアがあげられました。

◆しかし、実際に新たなイベントを行うとなると、「人(中心的人物や協力者)、場所、資金、地区内の他のイベントとの兼ね合い」等の理由で、新しいイベントの開催は難しいというのが11月の昭和未来会議を終えての主な意見でした。

◆そこで、イベントグループの話し合いの節目として、既存イベントの情報整理をはじめました。

⇒12月の会議では、イベントの意義について改めて考え、視点を取りまとめました。その上で、2つの方向性が示されました。

①こちらは、3月の昭和未来会議で皆さんに報告できるように準備！

イベント情報の整理は事務局で引き継ぎ、その後、町内の関係者の皆さんに内容をご確認頂き修正した上で、様々な形で活用していくことになりました。

⇒既存イベントへの活性化。参加者、協力者の増加

⇒運営者が各イベントの情報を知ること、内容の磨き上げやイベントの存続に繋げる

⇒新規のイベントを考えたいという住民が出てきた際の参考とする

⇒定期的に情報を修正・更新し、昭和未来会議で管理、活用していく

②子ども向けの防災イベントをやってみようという、アイデアが出され、実現に向けて話し合いが行われました。

まず、前回のおさらいも踏まえて、「イベントの意義」の再確認が行われました。その都度「イベントの意義」を再確認することで、会議が堂々巡りにならないよう、昭和の未来に向けて、各種活動が行われるようにしていこう、という願いが込められています。

このアイデアを実現するために、個別でプロジェクトミーティングがスタートしました。

第8・9回の意見まとめ

<p>さいがい たいげん ・(災害) 体験イベント NEW!! ・ ↑ 子ども向け!! おとな やくわり 大人の役割も べつと きかくしよ ・別途企画書をつくる どうどうめぐ (堂々巡りにならないよう に) その都度確認する</p>	<p>きぞん ぼうさいくんれん べつ もの ・既存の防災訓練とは別の物で あそ ごころ たいせつ ・遊び心も大切 じぜん ちく とくちょうだ ・事前の地区の特徴出し た だ しょく ・炊き出し⇔食 ぜんかい さいがい ・前回のフェスの災害イベントは にん 5 = 60人 + おや 12人×5=60人 + 親 こ む もの じっし ※子ども向けの物だけならすぐ実施 できる</p>	<p>りょうりん ・両輪! (「イベ ント」と「日々 の交流」) せつちやくざい ・接着剤として の防災イベン ト</p>
<p>じき ・→時期 ベストは?? ぶんかじん ちいき たから ・リストづくり。文化人など地域の宝も ひがし こ ちいき たつじん まな ちいきこうりゆう ・東っ子カーニバル。地域の達人に学ぶ (地域交流)、2017.2.18 ★10:00~11:00 かつう ★オシモノ 加藤さん</p>		
<p>だれ 誰が</p>	<p>こてい ひつよう ・メンバーの固定も必要 かい しょうわちく ・オヤジの会を昭和地区でサポート かい こえか わか せだい さんか かたち ・オヤジの会、キタジマさんがお声掛け ・若い世代が参加しやすい形 たけうち ていげん ほんえい さと れんけい べつと うちあわ かいさい ・竹内さん提言を反映・いずればほえみの里も連携 ・別途で打合せ開催</p>	
<p>きょうりよく 協力</p>	<p>ぼうさい こそだ ・防災ママ かきつばた (子育てサークル) べんきょうかい →勉強会やっている。 てんとうぼうし じゅんび ぎょうせい 転倒防止、リュックの準備 →行政 きょうりよく ・“みらい”の協力 がいこくせき かた しょうらいてき ・いずれ外国籍の方も (将来的に?) たかはし ま こ ・(高橋さん) スクールガードも巻き込んでやってあげれば きょうりよく もと →どこに協力を求める? じえいたい ぼ ・自衛隊にとってもよいPRの場に しょうぼう かか ・消防も関わってくれた きょうみ きょうみ も →興味がない。興味を持ってもらうことから →やりやすいアクション、しやすい形 がっこう じゅうち ま こ なつやす じっし さんこう ほつ たしやう なつやす がっこう ・学校周知でも巻き込む。夏休みに実施 参考: 八ッ田小 夏休み学校 きぼうしや ぼうさい か たけ き なが こうてい でキャンプ (希望者、防災も兼ねている)。竹を切って流しそうめん。校庭 ひがししょう かい ぼうさい がいこくせき かた ま でテント、東小でオヤジの会の防災イベント + 外国籍の方も巻き 込む ひがししょう →東小でやれないか たぶんかきょうせい がいこく こ ぼうさい れんけい ・多文化共生プランでも外国子ども・防災で ⇔ 連携 ちやうないかい いか いただ じょうず ま こ ・町内会 → 関わって頂きやすいように上手に巻き込む しょうわ こうりゆう もくてき ちやうないかい かか いただ りそう 昭和の交流が目的なので、町内会も関わって頂くのが理想 せんれい むづか にんい きょうりよく ところ 先例がないので、難しい? ⇒まずは任意で協力してもらえるところから</p>	

じょうほうはっしん 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> きろくかかりじゅうよう ・記録係重要 ぼうさい ・防災イベントもやるが、イベント情報整理も必要⇒皆で考えるものではない
た その他	<ul style="list-style-type: none"> ちやうめ すく ・6～9丁目が少ない ひがししょう せんせい はい ・東小、先生にもWSに入ってもらえばよい みらい かいぎ みらい かんが ねんさき ・未来会議だから、未来を考える。5～10年先 きかい さん かしゃすく うんえい ひと あつ ・PRの機会。参加者少ない。いろいろやっているが・運営する人が集まらない き かくしよつく ・企画書作っては？ こてい はな つづ ・固定で話し合いを続けるメンバー →おやじの会に丸任せではなくて一緒にやる

イベント もくてきの の目的	<ul style="list-style-type: none"> みらい ・未来につながる！！ きかく どうどうめぐ おお ひと きょうかん おお ひと きょうりよく →企画／堂々巡りにならないよう／多くの人に共感／多くの人の協力 いま こ こ みんな し ・今までのイベントは個々で。皆が知っているものではない もくてき いま おな ・目的がうやむやだと今までと同じ さいがいじ しょうわ いち ・災害時の昭和の位置づけは？？ ↑イベントの目的・効果 こ む いぎ たの ・子ども向けの意義を。楽しくやるためにも いしき ひく ぼうさい いしき ひく ・まちへの意識の低さ ←防災への意識の低さ こ おおかわしょう れい そうていがい ・子どものためになることを。大川小の例。想定外 ぎろん ・このグループでの議論スタート ぜんたい いち もくてき めいかく 全体の位置づけ、このイベントの目的を明確にしてから ねんど ひ つ し きょうりよく かくにん ・年度またぐ ⇒ 引き継ぎ！！ ・市で協力について確認 し ぼうさいくねん がつ ・市の防災訓練 8月 なつやす ひがししょう ぼうさい しょうぼう じえいたい た だ こ む ・夏休み、東小で防災イベント 消防、自衛隊、炊き出し、子ども向けの楽しさも きぞん ぼうさいくねん こ む ・既存の防災訓練は、ブースはいろいろあるが、子ども向けはほとんどない おおはま じかい くちよう お かい ・大浜さん次回も！区長終わっても！！おやじの会だから し ぼうさいくねん ちく こうてい あ ・市防災訓練地区のやつ。校庭は空いている じぶん いのち まも ・自分の命を守るため
----------------------	---

第10回の意見まとめ

<p>子ども対象？ 何故？ 防災何故？ 防災はうまく言った イメージがない</p> <p>昭和の夏祭りやっ てきて、商店街 中心でやってきて ↓ ノウハウあるし、引 き継いでやっていく のが良いのでは ↓ 自治会、町内会 を巻き込んでやっ てみては？</p> <p>昭和未来会議で、 「夏祭り」「もちつ き」を継続してやっ ていければ ↓ これをおいて防災 の新イベントは、し っくりこない ↓ 次世代の人達にや ってもらう時期 (夏祭りはもう 数年はやれるが、 先行は不透明)</p>	<p>祭り → 行き違いがあ って別れ、回復で きない (お金出すけど人 出さないでは関わ る意味が無い) ↓ 防災訓練の固い やつではない。 防災が目的ではな くて。</p> <p>2部制(昼は一人で も来れる。夜は事 前申込みで親付 きで)</p>	<p>まず皆で、すすめ る！ が必要</p> <p>企画、本番を逢妻 やハツ田に手伝わ てもらう</p> <p>気持ち是一緒。ど ういう道筋でいくの か？ 「夏祭り」ではなく こども向け防災イ ベントで、ハツと 話合いの雰囲気か かわった。そこが 大事</p>	<p>遊び心(継続性が ないといけない) 義務でやるイベント にはしたくない</p> <p>外国人の子ども ↓ 親と一緒に来て泊 まる</p> <p>↓ 実行委員に外国人 さんも入れては？ ↓ 学校主催ではない ので、外国人の親 をどう集める？</p> <p>また、プロジェクトミ ーティングを開催し 詳細をつめる</p>
---	--	--	---

グループ②『支援が必要な方に対してできること』

<これまでのストーリー>

◆ここ数回話題となっている「認知症対策」。高齢化が著しい昭和地区でも重要な対策の一つとなります。

◆これまでの会議の中でも、認知症対策についてのアイデアが幾つかあげられてきました。今後も様々な高齢者対策が必要となりますが、昭和未来会議では、まず、はじめに認知症について考える機会について検討していけないか考えていただくことにしました。

◆第8回目以降の会議では、行政や社会福祉協議会と相談しながら、具体的に昭和地区で認知症対策の取り組みが行えるよう、事前に事務局が準備した実施イメージをもとに検討を進めました。

⇒ 実施イメージは次頁、会議意見については、次々頁をご参照下さい。

(今後について)

◆生涯学習、老人クラブ、高齢者サロンなど、既存の様々な活動の情報共有、活性化を中心に検討を進めます。

◆「劇団」のアイデア等についても、実現可能な時期や内容について検討を続けます。

その他...

◆地域全体への取り組みの周知や、意見交換、連携推進のため、「昭和区長会議」等の協議の場づくりを検討します。

<p>支援グループ</p>	<p>今年度（平成28年度）</p> <p>→</p> <p>●活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座を聞くだけでなく、地域で話し合うことが大事 地域の人が知り合う場、顔を合わせる場にもなれば 目的は認知症のことを理解している住民が地域にたくさんいる状況をつくること。高齢化の進む昭和地区では特に。（認知症サポーター）になつたら定期的なボランティア等で今後の活動で負担が生まれる、というものではない 認知症に限らず、色々な関心事について勉強できる場づくり 支援等に取り組んでいる人達の情報共有の場 <p>●反省会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所の人の様し方わからない どのような話が聞きたいか
<p>来年度以降（平成29年度～）</p>	<p>→</p> <p>●来年度以降の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 反省会の意見を踏まえ、内容を磨き上げる 昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 未来会議のメンバーも有志が協力 <p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和地区オリジナルの認知症サポーター養成講座に発展 交流の機会も併せて催し 認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる <p>●真小の子ども達との連携も検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人向けのメニューにも発展

第8回の昭和未来会議の案です、認知症サポーター養成講座の体験版の開催日程や内容について話し合いつつ、可能であれば「劇団」についてもお話を進めよう、というものでした。

参加者も増やすきっかけは？

地域での子育て支援を行う(若い人を歓迎する。NPOで実施。)

生涯学習を通じて団地の内外がつながっている。これを活かす

グランドゴルフ昭和支部は週2回、多くの人が集まっている。(役員の担い手は不足している)

閲覧板を回すだけでは、参加者が集まらず、声掛けで集まる

認知症の予防の話をした方が良い

支援の関わり方。予防

予防の知識を得ること

連携して事業を行ったり、課題の共有や

意見交換のため、「昭和区長会議」のよう

な協議の場を設置したい

一緒になってやれる場合と、町内によって

実情が違い難しい場合もある

2月25日(土)13時30分～プラザ昭和で実

施の認知症サポーター養成講座に行つて

みてもいい

団地の健康推進員活動として、健康体操

を年10回程度開催。ブラジルのおやつも

取り入れ、食文化交流にもなっている。

老人クラブ「北昭和会」で高齢者サロン「サ

ロン北昭和」を始めた

老人が参加しやすいように、パラリンピック

の種目みたいなもので、誰でもやれるスポ

ーツ大会をやってはどうか。

入りたいと思う会になる必要がある

昭和の施設の利用。多目的であってもよい。有効活用することが大切

既存組織活性化

おしゃべり昼食会集会場で月1回。月3回20～〇時。参加者の出席を気に掛けている

講座(公的)から自主講座(自主G)へ

サークル活動への行政助成方法の検討

集う場所(居場所)が多くあること

運営リーダーがいない

情報(集まり)を地域全体が共有できるか？

カラオケ週1回、手芸(もやいこで週1回)いろいろ

な方が興味を持てるとよい

生涯学習

集まり 40数人、平均80歳、月1回、古典講座

サポーターになつてもらなかなかに認知症の方と接する機会がない

同じ場で、「集まり」している人と、サポートしている人と情報共有をしたらどうか

老人クラブについて、市老連の活動計画がたくさん

あって、それに合わせているだけで、それぞれの老

人クラブの自由な活動ができていない。

老人クラブの会員が増える事で、支援が必要な人

への支援につなげることができる。

家に閉じこもらないようにする

グループ③『日頃の交流の場』

<これまでのストーリー>

◆話がなかなか進まない所以对象を絞って議論してはどうか、というご提案があり、子ども、高齢者の視点で意見交換を進めるように準備しました。



◆まずは、新規のアイデアよりも、既存の活動を中心に検討していこう。ということで、話し合いがはじまりました。



◆「グランドゴルフ」、「畑づくり」、「東小のせせらぎの会とのつながりの検討」、「“みらい”の活動とのつながり」などが、検討内容としてあげられています。



◆引き続き、既存活動から広げる候補について検討し、まず、最初に手掛けてみる活動を絞り、具体的なアクションに向けて話し合いを進めていきます。



◆このグループには初めて参加するという方を中心に話し合いが行われました。新しい視点からの意見があげられています。

◆今後も引き続き、アイデアを実行に移す担い手の模索を続けていきます。(「農園」「グランドゴルフ」「カラオケ」等)

◆もやいこハウスが新たに増える事もきっかけに、交流の拠点作りを継続検討します。

	既存の活動	今後の取組み	その他
子ども	・“みらい”	・英語を話せる人がいるとい い	・外国人 → 学用品に 困っている → バザ ーをやるとたくさん きそう！！
	・拠点か狭い		・外国籍の人も日本の 人と話をしたい！と いう人がいる
	・東小 せせらぎの 会		
	・東っ子カーニバル (イベント) 地域の 人と子ども達遊ぶ		
		・外国の人とも関わられるよう に	
	・歴史研究会 (知立 全体) 三丁目の人が先生		
	・パルケ	・大人と子どもが遊ぶような 一月に1日できれば	
	・縄跳びが盛り上がっ た	・オヤジの会の人に協力を お願いしている	
	・現在10人くらいで 運営。20歳代～高齢 の方まで	・遊休農地はある	
	・いろいろな遊びがそ の場で生まれた	・一月に1回話し合うことを している	
	・一月に1回やれれば	・学校、幼稚園、保育園に呼 び掛け	
	・畑作り 新規 ※参考 刈谷	・外国の野菜を作って、それ を使った料理交流をやっ てもいい	・インドネシアのイス ラム教ハラール食は そこまで厳格なもの ではない
	・毎日行かなくてはい けない？ (収穫期)		

		既存の活動 きぞん かつどう	今後の取組み こんご とりくみ	その他 た
高齢者 こうれいしゃ		・ グランドゴルフ	・ ママともコミュニケーション	・ プレイパーク。遊具を はこ 運んで3～4人でやっ ている
		・ ↑外国人がグランド を荒らしたりしている？マナーのことも…		
			・ 親同士の交流が生まれる といい	・ ノコギリとかトンカ チとかを使う（風船、 みずでっぼう 水鉄砲）
			・ ブラジルとの文化の違いを つた 伝える、共有することが大切	
			・ 多国籍・多世代で話をす ば 場を作れば	・ 今回インドネシアの ひと 人ともはじめて話した ・ 話してみても初めて知 る事がたくさんある。
		・ ラジオ体操	・ ラジオ体操から交流が広 がるといい	・ 知立団地はフレンド リー
		・ カラオケの会	・ お母さん世代（時間のある ひと 人）が、交流できれば	・ 近隣との関係や リベンセイ 利便性がいい
		・ 昭和ウォーキングの 会 三丁目の人中心	・ 日本の歌を勉強する会（カ ラオケ）	
			・ カラオケの会。外国人の人 も知っている曲でできれ ば…	
			・ もやいこのとなりを地域の 拠点に →夜のボランティア がいたら…	・ ←国際交流がメイン の目的 ・ インドネシアの人も 団地にはいるが、同じ 国同士でも少ししか つながりがない